

自宅で学ぼう!

第1回

🌸 やま と 🌸

終

活

クイズ



健康創造都市やまと

※この用紙を下記に送付いただくと、採点して解説用紙をお送りします。
また、終活に関して気になることは、お気軽にご相談ください。

【お問い合わせ先】

〒242-8601
大和市鶴間1-31-7

大和市 健康福祉総務課 おひとりさま支援係

電話 046-260-5622
FAX 046-262-0999

ご注意

1. 回答は「○」または「×」で記入してください。
2. 問題は1問1点で、30点満点です。
3. 回答後、本用紙を、裏面の「おひとりさま支援係」まで「送付」していただくと、職員が採点して、解説用紙とともに返却します。

回答者住所 大和市

回答者氏名

30

※ 答案の送付などに必要ですので、正確にご記入ください。

問1 大和市はベッドタウンで若者も多いので、高齢化率は20%未満だ。

問2 大和市の住民登録上の「65歳以上の一人世帯」は13,000人を超えている。

問3 総じて、大和市の北部のほうが、南部よりも高齢化率が高い傾向にある。

問4 「終活」とは、定年退職した後に仕事先を探すことである。

問5 終活は、そろそろ体が動かなくなってから始めるのが理想的だ。

問6 大和市は葬儀・納骨の事前契約をサポートする、全国的に珍しい自治体である。

問7 終活を支援する「おひとりさま支援係」は、鶴間駅近くの保健福祉センター内にある。

問8 大和市を通じて、信頼できる遺品整理業者から見積もりを取ることもできる。

問9 日本全国で見ると、お寺の数よりもコンビニの数のほうが多い。

問10 病院は、保証人が居ないことのみを理由として、入院を拒否しても良い。

問11 葬式で、木魚の代わりに、故人の好きだった音楽を流す行為は禁止されている。

問12 遺体を自家用車で、病院から自宅まで運んだ。

問13 「大和斎場」は大和市が独自で運営する斎場である。

問14 好きだった金属製のゴルフクラブを棺の中に納めて火葬してもらった。

問15 「遺影」は直近半年以内のものでなければいけないから、前もって撮っても意味がない。

問16 火葬場が空いていれば、死後数時間でも火葬は可能である。

問17 「献体」とは、自らの遺体を大学の医学部などの医療機関に提供して、医学の発展に役立ててもらうことである。

問18 日本で「土葬」は、すでに禁止となっている。

問19 墓地の区画は、一回買ってしまえば、祭祀継承者が居なくても永久的なので安心だ。

問20 遺骨は四十九日までに、埋葬しなければならない。

問21 海に遺骨をまくことは、国の法律で禁止されている。

問22 遺言書を引き出しから見つけたので、即座に開封して内容を確認した。

問23 遺言書に「延命治療」のことを書いても、実行されることはない。

問24 相続人や利害関係人が居ない場合、故人の財産は国庫に帰属する。

問25 死亡により個人の銀行口座が凍結した場合、相続が決まるまで一切の引き出しができなくなる。

問26 相続トラブルの半数以上は、1億円以上の遺産のトラブルである。

問27 「エンディングノート」とは、万一のことがあった場合に備えて、自分の情報などをまとめておくためのノートのことを言う。

問28 エンディングノートは大和市では作成していないので、本屋で入手するしかない。

問29 エンディングノートは法的拘束力があるので、書いたことは実行される。

問30 大和市では、希望があれば、エンディングノートを保管してくれるので安心だ。

